

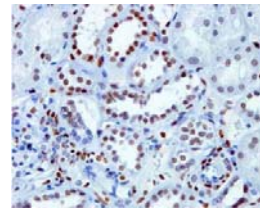
## Anti human COUP-TF II mouse monoclonal antibody

COUP-TF II: Chicken ovalbumin upstream promoter-transcription factor II

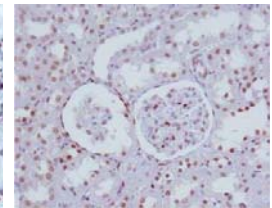
製品コード	PP-H7147-00 旧コード 2ZH7147H
Clone No.	H7147
Lot.	A-2
濃度	1mg/mL
容量	100 $\mu$ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR2F2
Genbank	M64497
由来	ヒトCOUP-TF II (43-64 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト COUP-TF II に特異的に反応する。ヒトCOUP-TF I, EAR2 と反応しない。マウスおよびラット COUP-TF II と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN <sub>3</sub> 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1 $\mu$ g/mL
非還元 Western Blot	未検討 参考使用濃度 -
ELISA	可 参考使用濃度 0.1 $\mu$ g/mL
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調整してください
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	可 参考使用濃度 10 $\mu$ g/mL



ヒト  
尿細管  
パラフィン切片



ラット  
糸球体  
パラフィン切片

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Lee CT, *et al.* Mol Cell Biol., 2004, 24(24): 10835-43  
You LR, *et al.* Proc Natl Acad Sci USA. 2005, 102(45):16351-6  
Suh JM, *et al.* Mol Endocrinol, 2006, 20(12): 3412-20  
Qin J, *et al.* Dev Dyn., 2007, 236(3): 810-20  
Perilhou A, *et al.* Mol Cell Biol., 2008, 28(14): 4588-97  
Li L, *et al.* Cell Metab., 2009, 9(1): 77-87

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jan 22, 2009